

人類学演習Ⅲ 談話会

7月1日(金)
16:30~18:00
場所: 201号室

演者: 井原泰雄 先生

(進化人類学研究室 講師)

演題: 「顔の類似性と魅力」

要旨

ヒトの配偶者選択は様々な身体形質の個体差に依存すると考えられている。顔貌はこのような形質の一つである。デジタルモーフィング技術により作成した合成顔を用い、特定の個人が特定の異性の顔に感じる魅力が、両者の顔の間の類似性に依存するという仮説について検討した。インドネシア・スンバ島において居住者の顔写真を収集し、世代別、男女別の「平均顔」を作成した。また、実際の人物の顔と平均顔との量的差異に基づき、特定の個人に似た合成顔を作成した。被験者は、自分や自分の異性親に似た顔を含む数人の異性の合成顔を比較し、それぞれについて、短期的・長期的パートナーとしての魅力を評価した。長期的パートナーとしての魅力について、女性は自分に似ていない男性の顔を好み、男性は自分の母親に似ていない女性の顔を好む傾向がみられた。

担当 田宝 玄人(石田研究室)